



小児看護のためのアセスメント事例集

この番組は、小児看護のアセスメントの演習のために作成された映像による事例紹介番組です。疾患により、入院することになった小児の入院にいたるまでの経過から、身体症状、不安・恐怖、家族の不安・心配、治療援助で起こる問題などをモデルを使って紹介しています。本シリーズは、より現実に則した看護計画を立てるうえで必要な情報収集の仕方や、小児の一般的な疾患の看護を学習する機会を提供します。小児看護のイメージづくりやグループディスカッションなどでぜひご利用ください!



■ DVD全5巻 ■ 各巻価格 **¥28,000** (本体価)+税
■ 全5巻セット **¥140,000** (本体価)+税

vol.1 喘息発作で入院した小児の看護事例 27分



■ 監修: 鈴木 恵理子 淑徳大学 看護栄養学部 教授
■ 原案: 小川 純子 淑徳大学 看護栄養学部 准教授
長谷川ももか(4歳女児)ちゃんは、喘息の発作で入院することになりました。この事例では、アセスメントの視点として入院や処置による苦痛やストレス、家族の不安、喘息コントローラーの怠業など、看護援助で生じる問題や母親に生じている問題に注目し、入院から退院までの看護場面を紹介します。

vol.4 低出生体重児とその家族への看護事例 NEW 32分



■ 監修: 小川 純子 淑徳大学 看護栄養学部 准教授
■ 原案: 伊藤 奈津子 淑徳大学 看護栄養学部 助教
田中陽菜(女児 在胎週数31週5日)ちゃんは、緊急帝王切開にて体重1,660gで生まれNICUへ入院することになりました。この事例では、アセスメントの視点として、低出生体重児の胎外生活への適応、父親の不安、母親の自責の念、母子の愛着形成、母体の回復、育児への不安など家族に生じている問題に着目し、日齢0日~日齢50日までの看護場面を紹介します。

vol.2 ネフローゼ症候群で入院した小児の看護事例 25分



■ 監修: 鈴木 恵理子 淑徳大学 看護栄養学部 教授
■ 原案: 小川 純子 淑徳大学 看護栄養学部 准教授
学童期、男児のネフローゼ症候群の事例。この事例では、アセスメントの視点として、倦怠感や浮腫による身体的苦痛、初めての入院に対する子ども不安、親の不安、腎生検に対する不安、腎生検後の苦痛、ステロイド薬長期使用による副作用の可能性などに注目し、入院から退院までの看護場面を紹介します。

vol.5 川崎病で入院した小児の看護事例 NEW 30分



■ 監修: 小川 純子 淑徳大学 看護栄養学部 准教授
■ 原案: 伊藤 奈津子 淑徳大学 看護栄養学部 助教
足立幸彦(男児1歳)くんは、近所の小児科で川崎病を疑われ、紹介された総合病院で川崎病と診断され、入院することになりました。この事例では、アセスメントの視点として、免疫グロブリン療法(IVIG)中の副作用の観察、高熱や急性期の症状に対する苦痛緩和、経口薬(アスピリン)を嫌った時の工夫、心臓超音波検査、また母親の自責の念、家族の不安や心配などに着目し、入院から退院までの看護場面を紹介します。

vol.3 急性胃腸炎で入院した小児の看護事例 24分



■ 監修: 鈴木 恵理子 淑徳大学 看護栄養学部 教授
■ 原案: 小川 純子 淑徳大学 看護栄養学部 准教授
鈴木美羽(女児生後5ヶ月)ちゃんは、急性胃腸炎で入院することになりました。この事例ではアセスメントの視点として、水分摂取不足、脱水、腎部のびらんの可能性、悪心嘔吐による苦痛、家族の不安、感染防止など看護援助で生じる問題や家族に生じている問題に注目し、入院から退院までの看護場面を紹介します。



©2014~2017



重篤な新生児の医療をめぐる協働意思決定

重篤な子どもの生命維持治療は、医師、看護師、家族等による話し合いによって決定されますが、臨床では上手な話し合いができない現状があります。本DVDは、超低出生体重児(在胎23週 498g)の生命維持をめぐる事例を取り上げ、倫理コンサルテーションを含めた話し合いのシミュレーションを紹介します。



■ DVD全1巻 ■ 価格 **¥28,000** (本体価)+税



■ 原案監修: 井上 みゆき 公立大学法人 山梨県立大学 看護学部 教授
■ 学術協力: 豊島 勝昭 神奈川県立こども医療センター 新生児科 部長 / 板井 孝孝郎 宮崎大学大学院医学 獣医学総合研究科 教授 / 宮崎大学医学部 附属病院 臨床倫理部 部長 / 寺澤 大祐 岐阜県総合医療センター 新生児内科 医師 / 齋藤 香織 神奈川県立こども医療センター 新生児集中ケア認定看護師 / 村田 知佐恵 東京大学医学部附属病院 小児看護専門看護師 / 稲村 絵美子 東京医科大学病院 小児科 臨床心理士 / 浅井 宏美 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 講師 / 宗村 弥生 山梨県立大学 看護学部 准教授



重篤な新生児の医療をめぐる協働意思決定 NEW 37分



ハナちゃんは、在胎23週1日。498gで出生した超低出生体重児であり、Apgarスコアは3/8です。出生直後から新生児呼吸窮迫症候群の診断で人工呼吸管理を行っています。この番組では、ハナちゃんの治療をめぐる「医療者の話し合い」「家族と医療者の話し合い」、また「手術をする場合」「治療を差し控える場合」の話し合いの場面を紹介します。

©2016

制作著作

株式会社 **医学映像教育センター** <http://www.igakueizou.co.jp>



本社 / 〒168-0074 東京都杉並区上高井戸 1-8-17 TOYA BLDG.7 TEL: 03-3329-1241 FAX: 03-3303-1434
名古屋営業所 / 〒451-0042 愛知県名古屋市中区那古野 2-23-21 デラ・ドーラ名駅 TEL: 052-446-5241
関西営業所 / 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 NLC 新大阪アースビル 903 TEL: 06-6150-3301
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-6-12 オヌキ博多駅前ビル グローバルボックス622 TEL: 092-260-1698

まずは、「内容確認・検討」として
試写サービス(無料)をご利用ください!
お問い合わせ **0120-377-189**
[フリーコール]